

審査項目	評価基準	
1. 本業務に対する基本方針	事業内容及び目的	事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にあるか。
	管理運用方法	RPAの管理運用に必要な方法が、本市にとって有益かつ効率が図られるものであるか。
	導入効果	現状の運用にRPAを当てはめるに留まらず、RPA導入による効果が最大限となる具体的な提案や考え方が提示されているか。
	継続性	本業務を効果的に継続するための技術継続方法について、職員の負担軽減が考慮された現実的かつ有効な手法が提示されているか。
	行程表	本業務に関するスケジュールについて、本市の負担軽減を考慮した役割分担がされ、作業項目及び作業期間等が具体的に提示されているか。
	他自治体におけるRPA実証・導入実績	本事業を円滑に遂行する上で必要なノウハウと、実績（業務実績表[様式3]）に基づく経験を有しているか。
2. RPAソフトウェアに関する提案	利点及び拡張性	当RPAソフトウェアを利用することによる利点及び拡張性があるか。
	画像等認識技術の特徴	システムや端末環境に依存することなく操作対象を認識することができるか。
	RPA実行プロセスの把握方法	管理画面で処理工程が把握しやすく、開発者以外でもプログラムの概要や実行プロセスが分かるものであるか。
	RPA動作上の制約事項や制限等	RPA動作上の制約事項や制限等がなく、業務環境において円滑に処理を行うことができるか。
	職員によるシナリオ作成、修正方法	管理画面が分かりやすく、職員によるシナリオ作成・修正等が容易であるか。
	稼働管理方法	実行スケジュールやプログラムの管理ができ、効率的な運用管理につながるものであるか。
	能率的なライセンス利用方法	能率的なライセンス利用方法について具体的な提案があるか。
3. シナリオ作成及びシナリオメンテナンスに関する提案	作成及びメンテナンスにおける貴者と職員との役割分担	作成及びメンテナンスにおける貴者と職員との役割分担について、導入業務拡大を見据えた具体的な提案が示されており、職員負担が少ない内容であるか。
	作成後に想定されるエラー及びエラー発生時の対応方法	シナリオ実行中に発生したエラーに対し迅速に対応できる体制であり、円滑に業務を進めることができる内容であるか。
	実行プロセスのフォーマット化等シナリオ汎用化の方法	シナリオ汎用化に対する具体的な方策が示され、効果が見込まれるものであるか。
4. 運用支援に関する提案	問い合わせに迅速に対応するための体制	問い合わせ等に迅速に対応できる支援体制であるか。
	導入業務の効果検証	自動化を行った業務の効果検証の方法が具体的に示され、効率的なプロセスとなっているか。
	対象業務の抽出及び効果的なRPA導入のための考え方や手法及びプロセス	新たな対象業務の抽出及び効果的なRPA導入のための考え方や手法及びプロセスは、具体的で効率的なものであるか。
	統一的なプログラム作成方法及び効果的な運用ルール確立のための考え方や手法及びプロセス	統一的なシナリオ作成及び管理のための運用ルール確立に対する考え方や手法、プロセスは効果が見込まれるものであるか。
5. 職員の操作技術習得に関する提案	職員の操作技術習得支援に対する考え方や手法及びプロセス	職員の操作技術向上にあたっての考え方や手法、プロセスは効果が見込まれるものであるか。
6. その他追加提案	追加提案	仕様書に示す項目以外に、本業務及び本市における将来的なRPAの運用に効果的な企画提案があるか。
7. 仕様書要件一覧に対する回答	「1 RPAソフトウェア要件」及び「2 運用支援要件」に対する対応状況	求める機能について、要件一覧回答表（様式5）により評価する。
8. 業務実施体制	業務実施体制	業務実施体制表（様式6）は、本業務を円滑に遂行できるような体制（有識者・経験者の配置等）であるか。
9. 価格	価格の妥当性	提案価格書（様式7）について、提案価格評価基準表に基づき評価する。
		次年度以降の費用が過度な負担となっていないか。
10. デモンストレーション		実行のプロセスが分かりやすいものであるか。また、動作がスムーズでエラーなく実行されるか。